

日刊県民福井 掲載記事 平成25年 9月19日

症状がないときこそ

県では、昭和五十五年以降、死亡原因の第一位を「がん」が占め、三人に一人ががんで亡くなっています。今後も高齢化に伴い、死亡者の増加が見込まれています。がんによる死亡者数を減少させるためには、がん予防、早期発見、早期治療が大切です。

がんの予防には、まず禁煙です。自分がたばこを吸うだけでなく、家族や他人のたばこの煙もがんの原因になります。保険を使って治療もできますから、禁煙を希望する人には、禁煙外来の受診をお勧めします。

早期発見にはがん検診です。「血圧や血液検査で異常がない」「健康には自信がある」「忙しい、時間がない」「日ごろ医療機関にかかっている」「症状が出たときに病院に行くからいい」など、誤解や過信から、がん検診を受けていない人がいます。

多くのがんは、相当進行するまで自覚症状がないの

いきいきライフ

がん検診を受けよう

■がん検診の受診対象年齢と受診間隔

種別	対象年齢	受診間隔
胃・肺・大腸がん検診	40歳以上の男女	年1回
乳がん検診	40歳以上の女性	2年に1回
子宮頸がん検診	20歳以上の女性	2年に1回

※検査費用 胃がん・乳がん・子宮頸がん…1000円
肺がん・大腸がん…500円
特定年齢の人は無料クーポンが送付される
市町によって減額される場合もある

で、がん検診は、症状がないときにこそ受けていた方がいいのです。例えば、症がないときに検診で大腸がん検診を受けやすくするた癒率は96%ですが、症状が
出してから診察で見つかった
場合では、10%になってしま
います。

で、がん検診は、症状がないときにこそ受けていた方がいいのです。例えば、症がないときに検診で大腸がん検診を受けやすくするた癒率は96%ですが、症状が
出してから診察で見つかった
場合では、10%になってしま
います。

早期発見なら治る時代

検査を受けるときには、
受診券が必要です。県内では
は住んでいる市町にかかわ
らず、他の市町の医療機関
でも、受診券を使ってがん
検診を受診できます。お手
元に届いていない場合は、
お住まいの市町のがん検診
担当課にお尋ねください。
がん検診を受けていない
方へは、県受診勧奨センタ
ーが直接電話をかけて、検
診を勧めています。本年度
はまだ受けていないとい
う方は、これを機会に検診
を受けてください。
働き盛りの女性を対象と
して、乳がんと子宮頸がん
検診を受診できる「事業所
出前がん検診」を実施して
います。本県は働いている
女性の労働人口比率が高
く、がん検診を実施してい
ない小規模事業所で働いて
いる従業員の割合も高いと
いう特徴があります。事業
所まで検診バスが行きます
ので、効率良く受診できま
す。

精密検査イコール「がん」ではありません。胃がんの場合、精密検査が必要となるのは、受診者の十一人に一人ですが、がんが見つかるのは、要精検となつた四十五人のうち一人程度です。精密検査を受けるように言われたら、怖がったり面倒がったりしないで、早めに医療機関を受診しましょう。

(県健康増進課)